

「原発ゼロ」へ今こそ 笠井衆院議員が呼びかける

会場からも小水力発電の活用などの質問や意見が出されました

日本共産党群馬県委員会は16日、「原発事故問題・エネルギー政策学習講演会」を前橋市で開き、笠井亮衆院議員（党原発・エネルギー問題対策委員会責任者）が講演し、県内各地からの参加者で会場がいっぱいになりました。

笠井衆院議員は、「日本共産党のチームプレーで、九州電力の『やらせメール』問題を告発し、玄海原発の再稼働をストップさせることができた」ことを語り、「原発ゼロの日本をめざそう」と呼びかけました。

会場からの「桐生では、製糸産業が盛んだったので、水路が多くあり、小水力発電に活用できないか」といった自然エネルギーについての質問に、笠井衆院議員が答えました。



地域子育て支援にむけ保健福祉センター3階の1部屋を提供 常設施設をめざし子育てサークルや個人が活用

7月1日から保健福祉センター3階の1部屋を、地域子育て支援のために提供され、子育てサークルや親子で使えるようになりました。

今はまだ指導員の配置もなく、設備も整備されていませんが、訪れた親子が自由に使い、将来的には子どもたちや親が気軽に利用できる、施設をめざす予定です。（利用時間は平日の8：30～16：00）

今年も祇園囃子の練習がはじまりました 開催日程を今後検討へ

今年の「沼田まつり」は、例年通り8月3・4・5日に開催されます。

市民からは、土・日の開催を求める声が多いことから、「検討委員会」で今後2年間かけて検討されることになりました。



西原新町のお囃子の練習

夏だ！祭りだ！ 暑さに負けずワッショイ！ 各町の夏祭りがおこなわれました

沼田祭りを前に16日～18日にかけて、利南地区や池田地区、川田地区では、それぞれの神社で夏祭りがおこなわれました。



下屋町御輿

今年は、例年にない猛暑となりましたが、どの御輿も暑さに負けず、威勢のいいかけ声とともに、町内を練り歩きました。

東日本大震災への救援募金にご協力ください

大東議員が下記のところへご連絡ください。

連絡先 日本共産党利根沼田地区委員会
電話 23-1519

2011年7月24日

NO. 265

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料



放射性物質の飛散する範囲の見通しも知らせず、粗飼料の手配や稲わらの管理や対策を徹底しなかった政府の責任は明らかであり、飼料の確保、東電に全面的に賠償させるなど、政府は責任を果たすべきです。

放射線量が計測されていますが、遠く離れた浅川町などは対象外で、予想を超えた汚染の広がりが明らかになり、内部被曝も含め徹底した調査が必要です。

こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。福島県内で生産された肉牛から、放射性物質のセシウムで汚染された肉が相次いで見つかったっていますが、3月の福島第一原子力発電所の事故で飛散した、放射性物質を浴びた稲わら、牧草を与えられたことが原因とみられています。

牛肉から検出されたセシウムは長期間食べ続けなければ人体に影響はない程度とされていますが、食品と畜産業の「安全」「安心」のために、徹底した対策が不可欠です。

福島第一原子力発電所に近い警戒区域から牛は出荷されず、計画的避難区域などから出荷される牛は放射線量を計測していますが、遠く離れた浅川町などは対象外で、予想を超えた汚染の広がりが明らかになり、内部被曝も含め徹底した調査が必要です。

ぶらい散歩 めまた道 利根町 その九 平川

平川古滝庵不動尊（ひらがわふるたきあんどうそん）には、延喜年間（902～918）に、村に干ばつがあり、村人たちが不動尊像を滝の下に建て、祈念したところ大雨になったという、言い伝えが残っています。

村人たちはこの雨に感謝し、黒檜（くろび）、赤松、杉などを植え奉納し、現在では、黒檜2株、赤松3株、杉10本が残り、市指定天然記念物に指定されています。

平川古滝庵不動尊は、修験者の霊場でもあり、村内だけでなく県外の人たちからも信仰されています。



参道沿いに並木のように植えられている杉

この不動尊の建立はさだかではありませんが、言い伝えでは、坂上田村麻呂が東征の時、参詣したと言われています。

平川古滝庵のお不動様は、「雨乞い不動」の名で親しまれています。



平川古滝庵の不動明王立像